

タイMCP社エアコン生産工場における 一貫生産体制の構築

大塚哲也*
平石康太郎**
白瀬洋治**

要 旨

三菱電機では、このたび東南アジアの一大空調機器生産拠点として、事業方針である“消費地立地生産”を基本に、当社を代表する海外工場を建設し、ルームエアコン、パッケージエアコン(Mr.SLIM、大型パッケージエアコン シティマルチ)を1997年9月から生産開始した。

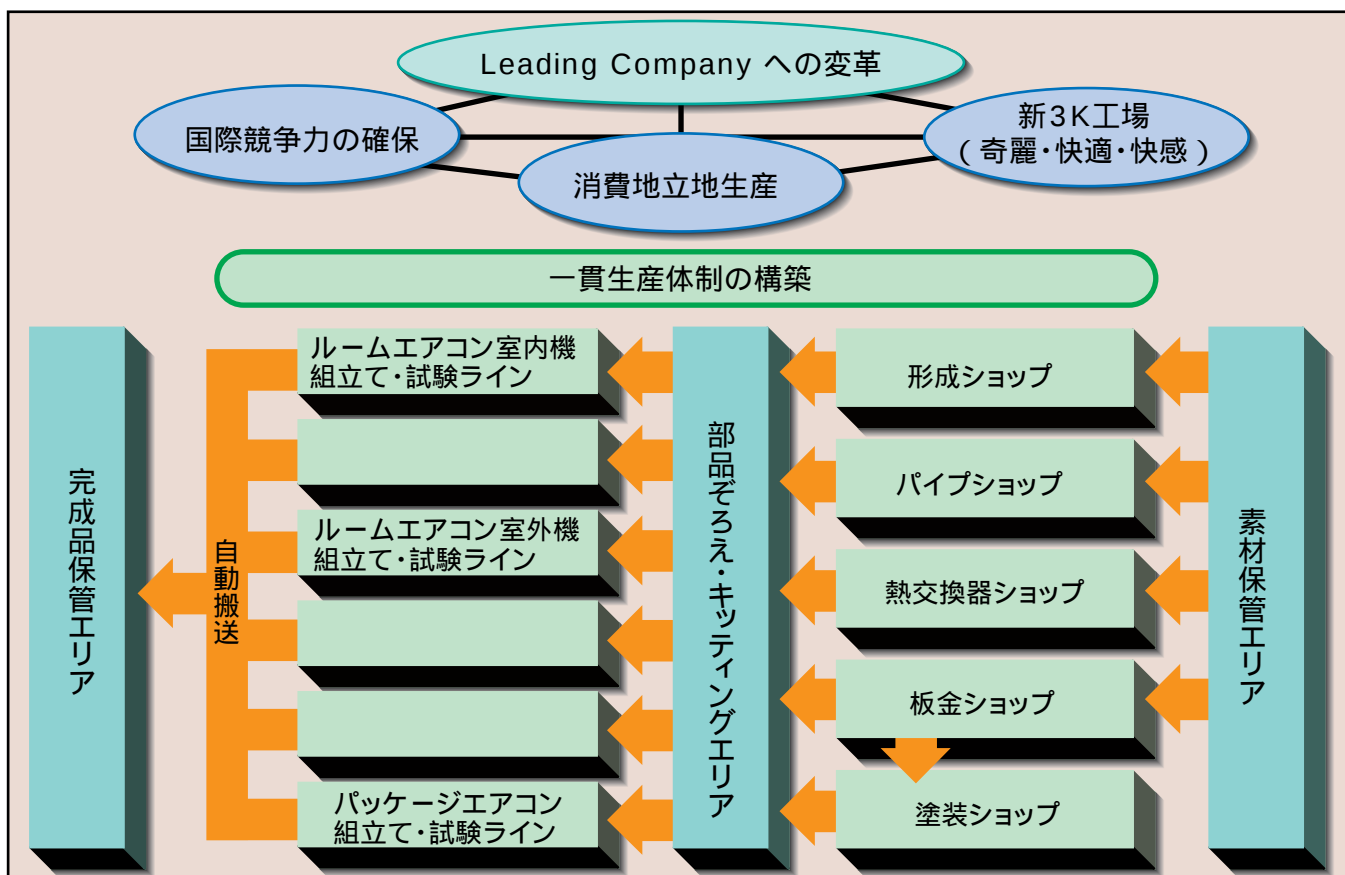
新工場建設に当たり設定したコンセプトと特長は次のとおりである。

- 消費地に立地した空調機器生産拠点
- 地域社会と融和した新3K工場(奇麗・快適・快感)
- 国際競争力の確保

これらを実現するため、MELCO Consumer Products

(Thailand) Co., Ltd(タイMCP社)は、消費地に適した製品を開発・設計し、現地で生産・販売する方式を目指した。さらに、国際競争力確保のため、品質、コスト、サービスの向上を図り、部品を生産するフィードショップから組立て・試験ラインを同期生産させる一貫生産体制を構築した。これらは、生産設備の整備・強化、工場内物流の効率化による短納期生産体制を確立するとともに、各ショップを有機的に結び付けコントロール可能とする生産管理システムの導入によって実現した。

本稿では、これらの取組について述べる。



タイMCP社新工場における一貫生産体制

新工場建設に際し“Leading Company”への変革を目標に、消費地立地生産、新3K工場、さらに国際競争力の確保を基本コンセプトとして、その実現へ向け一貫生産体制を構築した。